

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 幼児教育学 (英文名) Education of Young Children	4単位	(ふりがな) こみやま きよこ 担当者 小宮山 潔子 e-mail kkomiya@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要: 幼児教育の意義、目的、歴史、制度、思想、方法等を概観し、幼稚園教育要領への理解を深め、幼児教育課程の意義及び編成の方法を学習する。		
教科書: 「幼稚園教育要領」 ぎょうせい		
参考図書:		
評価法: 春期試験(50%)、秋期レポート(50%)		
具体的評価方法等:		

【授業計画】

回数	講義テーマと概要
第1回	1年間の授業予定についての説明。自分が受けた幼児教育について、各自自分の体験についてレポートする。
第2回	幼稚園教育要領についての概要。改訂の基本的方針。幼稚園教育要領の歴史的変遷。
第3回	「中央教育審議会」「時代の変化に対応した今後の幼稚園教育の在り方に関する調査研究協力者会議」「教育課程審議会」の各審議内容の検討。
第4回	幼稚園教育の基本(1) 環境を通して行う保育ということの意味。遊びを通した一人ひとりに応じた総合的指導。
第5回	幼稚園教育の基本(2) 幼児が主体的な活動を行うための計画的な環境構成、生活体験を通した「生きる力」の涵養。
第6回	幼稚園教育の目標(1)～(5)の内容 基本的な生活習慣・態度、自立と協同、道徳性、自然への関心、言葉への興味、多様な体験、創造性。
第7回	教育課程の意義(1) 教育課程の意味、目指す幼児像。発達に応じたねらい、具体的内容。
第8回	教育課程の意義(2) 意図的教育、計画性ある指導。目標に向かっての全体計画。
第9回	教育課程編成の主な改善内容。各幼稚園の創意工夫の必要性。自我の形成の視点をもつこと。
第10回	教育課程編成の実際(1) 関係法令、幼稚園教育要領、地域の実態、幼児の発達の実情。
第11回	教育課程編成の実際(2) 各幼稚園の教育目標についての検討。現実に即した再構成。
第12回	教育課程編成の実際(3) 幼児の発達の過程の見通し。幼児の関心の傾向、適応の状態。
第13回	教育課程編成の実際(4) ねらいと内容の具体的な組織化。反省・評価による教育課程の評価・改善。
第14回	「領域」について 領域というものの考え方。各領域のねらい及び内容。
第15回	指導計画作成のポイント(1) 一般的な留意事項。指導計画の考え方及びその作成。
第16回	指導計画作成のポイント(2) 特に留意する事項。地域・社会との関連、特別な事情のある幼児。
第17回	長期の指導計画とその具体例。幼児の生活する姿、指導の重点の把握。地域の環境、行事の位置付け。
第18回	短期の指導計画とその具体例。週などの生活の区切りによる計画。1日の生活の流れに沿う計画。
第19回	環境の構成と保育の流れ—実践事例— 状況を作るということ。幼児の活動に沿った環境を構成すること。
第20回	環境の構成と保育の流れ—実践事例— 教師の役割、物的・空間的環境の構成。自然環境を生かした環境の構成。
第21回	幼稚園の見学 子どもたちの実際の活動に触れ、幼稚園の具体的な活動から学ぶ。
第22回	幼稚園教育と家庭教育の連携。幼児を中心においた相互理解。具体的事例。
第23回	幼児理解と評価。教師の姿勢、評価の具体的な方法。保育記録のとり方。
第25回	今後の幼稚園教育の展望。子育て支援センター、預かり保育、幼・保、幼・小の連携。